

平成26年度 「県内大学生が創る奈良の未来事業」 募集要項

奈良県では、平成24年度から、「県内大学生が創る奈良の未来事業」を実施しています。この事業は、多様化・複雑化する県政の様々な課題を解決するため、県内の大学(短期大学を含む)・大学院、高等専門学校に在籍する学生の皆さんから政策提案を募集し、皆さんから応募いただいた政策提案のうち、公開コンペ方式により選ばれた提案を事業化し、学生の皆さんにも参加いただいて事業を実施するものです。

「未来は予測するものではなく、創るもの」という言葉を信じ、「奈良の未来」を共に創るため、学生の皆さんの専門的な知識や新たな視点を活かした提案をお待ちしております。ふるってご応募ください。

◆募集期間:

平成26年4月1日(火)～6月9日(月)(必着)

◆問い合わせ・応募先:

奈良県総務部知事公室政策推進課

「県内大学生が創る奈良の未来事業」担当

住所: 〒630-8501 奈良市登大路町30番地

電話: 0742-27-8472(直通) FAX: 0742-22-8012

ホームページ:

<http://www.pref.nara.jp/11868.htm>

1 事業の概要

県内の大学等に在籍する学生(以下、「県内大学生」という)が有する専門分野の知識や新たな視点を活かし、多様化・複雑化する県政の課題を解決するとともに、県内大学生に県政に関わる課題の検討・議論に参加いただくことを目的として、県内大学生から県政の重要課題に関わる政策提案を募集し、公開コンペ方式により優秀と認められる提案を選考、県内大学生、県職員等によるプロジェクトチームで検討、事業化し、県内大学生も事業実施に参加いただきます。

2 募集及び応募

(1) 応募対象者

県内の大学(短期大学を含む)及び大学院に在籍する学生並びに奈良工業高等専門学校(以下「工業高専」という)の4年生以上及び専攻科の学生

※ただし、事業の提案主体は「学科、研究室、ゼミ等の学生による研究グループ」(以下、「県内大学生グループ」という)とします。

※県内大学生グループのメンバーは3名以上10名以下とします。

※提案に際しては指導教官等の承認を得たものとします。

(2) 募集内容

「主な政策集 もっと良くなる奈良県」(平成26年2月発行)に掲載されている政策課題をはじめとする、県政の重要課題に関わる政策提案

※「主な政策集 もっと良くなる奈良県」については、奈良県ホームページをご覧ください。<http://www.pref.nara.jp/15672.htm>

※提案内容について、同様の取り組みを既に県で実施していないか、提案される前に県担当部局に確認してください。なお、担当部局については、下記「(5)問い合わせ・応募先」までお問い合わせください。

(3) 募集期間

平成26年4月1日(火)～6月9日(月)(必着)

※郵送する場合は、配達日が確認できる方法(簡易書留郵便、配達記録のある宅配便等)でお送りください。

※持参する場合は、平日(土曜日、日曜日、祝日以外の日)の午前8時30分から午後5時15分の間にお持ちください。

(4) 応募方法

様式1(政策提案書)、様式2(提案者等調書)、様式3(政策提案企画書)に必要な事項を記入のうえ、下記「(5)問い合わせ・応募先」あて郵送または持参してください。

※様式については、奈良県ホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.pref.nara.jp/28210.htm>

※提出いただいた応募書類は返却できませんので、あらかじめご了承ください。

(5) 問い合わせ・応募先

奈良県総務部知事公室政策推進課「県内大学生が創る奈良の未来事業」担当

住所:〒630-8501 奈良市登大路町30番地

電話:0742-27-8472(直通) FAX:0742-22-8012

※電話による問い合わせは、平日(土曜日、日曜日、祝日以外の日)の午前8時30分から午後5時15分の間をお願いします。

3 選考及び表彰

応募書類による事前審査を行った上で、県内大学生グループの皆さんにプレゼンテーション等をしていただく公開コンペ方式による本審査を行い、最優秀賞1グループ、優秀賞2グループを選考します。

(1) 事前審査(書類選考)

提出いただいた応募書類により県職員が審査を行い、本審査(公開コンペ方式による選考)に参加いただく県内大学生グループを選考します。(6月中旬頃)

事前審査の審査結果については、応募いただいた県内大学生グループ全てに通知します。(6月下旬頃)

(2) 本審査(公開コンペ方式による選考)

事前審査により選考された県内大学生グループによる公開コンペを実施します。そこで、各グループによるプレゼンテーション、質疑応答等を行い、奈良県知事、有識者等が審査し、最優秀賞1グループ、優秀賞2グループを選考します。(7月中旬頃・奈良市内で実施予定)

本審査の審査結果については、応募いただいた県内大学生グループ全て(本審査に参加されなかった大学生グループを含む)にお知らせします。(7月下旬頃)

なお、別途、公開コンペを傍聴する参加者を募集し、各グループによるプレゼンテーション、質疑応答等の模様を県民に公開します。

※可能な限り、指導教官もご出席いただきますようお願いいたします。

(3) 審査基準

項目	内容
必要性	提案された政策は、県民のニーズ、県の強み・弱みに合致したものであるとなっているか。
具体性	提案された政策は、具体的な内容となっているか。
有効性	提案された政策は、実施することにより効果が期待できるものとなっているか。
専門性	提案された政策は、県内大学生の有する専門的な知識が活かされた内容となっているか。
新規性	提案された政策は、これまで県が実施していない新たな取り組みとなっているか。 平成24年度、平成25年度に選考された提案が属さない政策課題分野から提案された政策か。(※)
発展性	提案された政策は、今後の発展が期待できるものとなっているか。
実現可能性	提案された政策は、実現可能な計画、方法となっているか。
主体性	県内大学生が積極的に参加する内容となっているか。

※平成24年度、平成25年度に選考された提案が属さない政策課題分野から提案された政策については、政策課題分野に新規性があるものとして加点します。平成24年度、平成25年度に選考された提案は、9(3)をご覧ください。また、政策課題分野については、「主な政策集 もっと良くなる奈良県」をご覧ください。

(参考)①平成24年度に選考された提案の政策課題分野:観光の振興、農林業の振興、②平成25年度に選考された提案の政策課題分野:観光の振興、南部地域・東部地域の振興、スポーツの振興

(4) 表彰

公開コンペ方式により選考された最優秀賞1グループ、優秀賞2グループを知事が表彰、記念品を授与します。(7月中旬頃・本審査に引き続き実施)

4 政策提案の事業化

(1) プロジェクトチームの設置

公開コンペ方式により選考された最優秀賞1グループ、優秀賞2グループの政策提案について、プロジェクトチーム(以下、「PT」という)を設置、検討し、次年度の当初予算要求を行います。(8月～)

①PTメンバー

政策提案した県内大学生、県部局担当者

※可能な限り、指導教官もアドバイザーとしてご参加いただきますようお願いいたします。また、県担当部局企画管理室長等もアドバイザーとして参加します。

※政策提案した県内大学生のうち、PTに参加できない者がいる場合、または、学校行事等の都合でPTメンバーとして十分に活動できない者がいる場合等は、県内大学生が在籍する大学の同一学科、研究室、ゼミ等の学生が若干名(3名以内)参加することができます。

②検討方法

定期的(週1回程度)に打ち合わせを行い、提案内容の事業化に向けた検討を行います。また、必要に応じて、先進地調査、県内調査等を行います。

(2) 知事へのプレゼンテーション

PTで検討し、平成27年度当初予算要求を行う事業内容について、知事へのプレゼンテーションを実施し、事業化提案を行います。(11月上旬頃)

5 事業の実施

(1) 県による事業実施

平成27年度に予算化された事業について、県担当部局が実施します。

(2) 県内大学生の事業参加

政策提案いただいた県内大学生は、次年度に県が事業を実施する際に、事業実施にも参加いただきます。

6 スケジュール(予定)

<平成26年度>

4月 1日～6月 9日 募集期間

6月中旬 事前審査(書類選考)

- 6月下旬 事前審査結果通知
- 7月中旬 本審査(公開コンペ方式による選考)・表彰
- 7月下旬 本審査結果通知
- 8月～ PTでの検討、平成27年度当初予算要求
- 11月上旬 知事へのプレゼンテーション、事業化提案
- 3月下旬 平成27年度当初予算承認

<平成27年度>

- 4月～ 事業実施
県内大学生による事業参加

7 情報公開

- (1) 県内大学生グループから提出いただいた応募書類(様式1、様式2及び様式3)のうち、個人情報を除く全ての情報は情報公開の対象となります。
- (2) 提案いただいた県内大学生グループについて、在籍する大学等の名称、代表者の学部・学科・学年及び氏名、政策提案の名称及び概要は公表します。
- (3) 本審査に参加いただく県内大学グループについては、グループメンバーの学部・学科・学年及び氏名を公表します。
- (4) 事前審査、本審査の結果の概要は公表します。

8 個人情報

- (1) 事業実施に際して収集した個人情報について、事業実施以外の目的には使用しません。

9 その他

- (1) 応募に要する費用(公開コンペ参加のための交通費を含む)は、自己負担となります。
- (2) PTでの検討に要する費用(県内調査及び県外先進地調査のための交通費、PT出席のための交通費並びにボランティア活動保険料を含む)は、県の負担となります。
- (3) 平成24年度、平成25年度に最優秀賞・優秀賞を受賞し、選考された政策提案については、下記のとおりです。

①平成24年度に選考された政策提案

	政策提案の名称等	政策提案の概要
最優秀賞	<p>○政策提案の名称 泊まってみ奈良？ ー町屋ステイで奈良を知るー</p> <p>○在籍する大学等の名称 奈良県立大学</p> <p>○グループ代表者 地域創造学部1年 横田 紘大</p>	<p>私達は奈良の「素朴で落ち着いた個性」に着目し、観光客が体で感じる奈良を体験できるような取り組みとして本政策を提案したいと考える。内容としては、県が町屋を買い取り、県・大学生・地域住民・専門家並びに教員などの連携により宿泊施設化、その上で学生インターンシップの活用により、学生自身が施設運営を進め、宿泊客へ様々な観光サービスを提供することである。町屋の宿泊施設化で、今奈良に多くみられる高級旅館と格安ビジネスホテルの間に位置するような、観光客が気軽に立ち寄ることができ、かつ奈良の風情を感じられる宿泊施設の実現を目指す。</p> <p>また、学生を中心に運営するため、安価でのサービス提供の実現や、心地よい空間づくり、インターンシップの充実にもつながると考えられる。目標は、多くの観光客に奈良で宿泊してもらい、泊まってみてわかる奈良のよさを知ってもらい、奈良の個性を体で感じてもらうことである。</p> <p>また、この取り組みを通じて、地域住民同士が関わり合い、絆を再確認することを目指す。さらに、観光庁等が行う宿泊者数ランキングの上昇、町屋が立地するならまちエリアのさらなる経済効果拡大を図る。</p>
優秀賞	<p>○政策提案の名称 奈良県産材製の児童用学習机・椅子・教卓の普及</p> <p>○在籍する大学等の名称 奈良女子大学</p> <p>○グループ代表者 生活環境学部住環境学科4回生 笹川 祐里</p>	<p>奈良県南部の主要産業である林業と製材業の振興のために、平成20年度から奈良女子大学生生活環境学部中山研究室と桜井木材協同組合青年経営者協議会が共同で開発、製作、普及を進めている奈良県産材製児童用学習机・椅子及び、企画開発予定の教卓や木製ロッカー・下足箱などをH26年～H31年の6年間で奈良県下公立小学校に100%普及させる政策を提案します。</p> <p>県下公立小学校生徒全員分の児童用学習机・椅子を、県産材を使い県下で製作する体制を整えることは、県内における木材の地産地消システムの整備であり、県産材に毎年一定の需要を生み、林業を基幹産業とする県南部の経済・雇用に与える効果が期待できます。</p> <p>また、小学校への導入することで総合教育への応用も可能であり、小学生とその保護者たちの木材に対する愛情を育み、奈良県の主要産業の1つが林業であるという認識の向上に繋がります。</p>
優秀賞	<p>○政策提案の名称 Meet 20s' 絆 プロジェクトー20歳の若者の出会いで絆をつくる</p> <p>○在籍する大学等の名称 帝塚山大学</p> <p>○グループ代表者 経営情報学部経営情報学科3年 森崎 直人</p>	<p>大学生の視点から見た奈良の魅力を、同世代の若者がよく利用するツールで伝え、奈良に多くの若者が訪れる機会をつくる。すでに構築された熟年観光客層に加え、近隣などから奈良を訪れる若者や低年齢の子供をもつファミリーの来訪者層を構築する。コンテンツは奈良の奥深い良さを理解できるようにする。</p> <p>具体的な提案は次の5つの内容である。1. 大学生が奈良の魅力スポットのおすすめマップを作成→2. スポットに、アプリとその場所でだけ会えるアニメキャラクターを配置→3. そこでイベントを企画し、数百万人の登録者をもつ位置ゲームなどの企業と提携・発信→4. 来訪者には、そのアニメキャラクターがコンシェルジェとして説明し、奈良の奥深い良さやおもてなしの心を伝達→5. その情報が、SNSやTwitterなどを介してさらなる情報発信</p> <p>アニメキャラクターのみやアプリの成功事例はあるが、行政がゲーミフィケーションとの連携の事例はない。</p>

②平成25年度に選考された政策提案

	政策提案の名称等	政策提案の概要
最優秀賞	<p>○政策提案の名称 科学の旅－シーズンフリーのワンストップサイエンスツーリズム－</p> <p>○在籍する大学等の名称 奈良教育大学</p> <p>○グループ代表者 教育学部・学校教員養成課程・理数生活科学コース4回生 萩 奈津希</p>	<p>小中学校の修学旅行生を大学にワンストップさせて奈良を学ぶ「科学の旅」、つまり、教育県・奈良ならできる・奈良しかできない学びのツアーを提案する。大学の高度な専門性と学生という人財を最大限に利用して、修学旅行で来県する児童生徒にワクワクする学びの刺激を与え、「また奈良に行きたい！」と思わせる奈良を科学する旅を提供する。</p> <p>本提案では、従来にない方法と角度からの奈良の魅力を発信によって、修学旅行生と奈良ファンの増加を目指す。</p>
優秀賞	<p>○政策提案の名称 自然の恵みリスタート事業</p> <p>○在籍する大学等の名称 奈良女子大学</p> <p>○グループ代表者 大学院人間文化研究科博士前期課程1年住環境学専攻 濱川 真衣</p>	<p>20歳前後の女子大生の感性で、奈良県南部地域の魅力を再評価し、今まで観光資源として位置づけられていなかったものも含めて南部地域の観光資源をまとめ直す。</p> <p>埋もれている観光資源を発掘し、改善方法などを地元住民と学生とで協同して考えることで、観光資源としての顕在化を図る。</p> <p>学生の感覚で観光情報の発信方法を検討し、同世代に対して効果的な方法で南部地域の観光情報を拡散させる。</p>
優秀賞	<p>○政策提案の名称 大学生がつくる幼児のためのスポーツイベント</p> <p>○在籍する大学等の名称 奈良教育大学</p> <p>○グループ代表者 教育学部・保健体育専修3回生 赤木 誠五</p>	<p>現在、奈良県が抱える問題の1つとして子どもの体力不足が挙げられる。そこで本政策では、幼児が運動遊びの楽しさを体験することで運動習慣を持つようになり、将来的に熱心にスポーツに取り組み、奈良県の子どもの体力向上につなげるためのきっかけづくりを行う。</p> <p>奈良県に在住している幼児(4～6歳程度)及びその保護者を対象にし、奈良県立橿原公苑などの体育施設で、様々な種目が体験できるスポーツイベントを実施する。イベントの運営は幼児分野、体育分野、保健分野を専攻している県内大学生が中心となって行う。実施種目は幼児ができる簡単なスポーツ(ボール運動、マット運動、陸上運動など)とする。</p>

